



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要						
建物名称	加藤産業(株)中部支社静岡支店	BEE	0.5	BEEランク	B-	★★

2. 重点項目への取組み度					
重点項目	得点**/満点	取組み度	評価		
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	1.6	/5		がんばろう	
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.9	/5		がんばろう	
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.0	/5		がんばろう	
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	1.5	/5		がんばろう	
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4 点以上	ふつう 3 点以上	がんばろう 3 点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目	
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。			
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)		得点	1.6
<ul style="list-style-type: none"> ■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) 	Q-1 2 2.1 2.1.2 ①	外皮性能	
	Q-1 3 3.1 3.1.3 ②	屋光利用設備	
	3.2 3.2.1 ③	屋光制御	
	Q-2 2 2.2 2.2.1 ④	躯体材料の耐用年数	
	2.2.2 ④	外壁仕上げ材の補修必要間隔	
2.2.3 ④	主要内装仕上げ材の更新必要間隔		
2.2.4 ④	空調換気ダクトの更新必要間隔		
2.2.5 ④	空調・給排水配管の更新必要間隔		
2.2.6 ④	主要設備機器の更新必要間隔		
Q-3 1 ⑤	生物環境の保全と創出		
3 3.2 ⑥	敷地内温熱環境の向上		
LR-1 1 ⑦	建物外皮の熱負荷抑制		
2 ⑧	自然エネルギー利用		
3 ⑨	設備システムの高効率化		
4 4.1 ⑩	モニタリング		
4.2 ⑪	運用管理体制		
LR-2 1 1.1 ⑪	節水		
1.2 1.2.1 ⑪	雨水利用システム導入の有無		
1.2.2 ⑪	雑排水等利用システム導入の有無		
2 2.1 2.1.1 ⑫	材料使用量の削減		
2.1.2 ⑫	既存建築躯体等の継続使用		
2.1.3 ⑫	躯体材料におけるリサイクル材の使用		
2.1.4 ⑫	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		
2.1.5 ⑫	持続可能な森林から産出された木材		
2.1.6 ⑫	部材の再利用可能性向上への取組み		
3 3.1 ⑬	有害物質を含まない材料の使用		
3.2 3.2.1 ⑬	消火剤		
3.2.2 ⑬	断熱材		
3.2.3 ⑬	冷媒		
LR-3 1 ⑭	地球温暖化への配慮		
2 2.2 ⑮	温熱環境悪化の改善		
"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)		得点	2.9
<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) 	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯	耐震性	
	2.1.2 ⑯	免震・制振性能	
	2.4 2.4.1 ⑰	空調・換気設備	
	2.4.2 ⑰	給排水・衛生設備	
	2.4.3 ⑰	電気設備	
	2.4.4 ⑰	機械・配管支持方法	
	2.4.5 ⑰	通信・情報設備	
	"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)		得点
<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮) 	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱⑲	ユニバーサルデザイン計画	
	3 3.1 3.1.1 ⑳	階高のゆとり	
	3.1.2 ㉑	空間の形状・自由さ	
Q-3 3 3.1 ㉑	地域性への配慮、快適性の向上		
"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)		得点	1.5
<ul style="list-style-type: none"> ■室外環境(敷地内)対策 (⑵生物環境の保全と創出/⑶まちなみ・景観への配慮/⑷敷地内温熱環境の向上) ■敷地外環境対策 (⑸温熱環境悪化の改善) 	Q-3 1 ⑵	生物環境の保全と創出	
	2 ⑶	まちなみ・景観への配慮	
	3 3.2 ⑷	敷地内温熱環境の向上	
LR-3 2 2.2 ⑸	温熱環境悪化の改善		

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要				1-2 外観
建物名称	加藤産業(株)中部支社静岡支店	階数	地上2F	
建設地	静岡県掛川市光陽208番地	構造	S造	
用途地域	区域区分非設定	平均居住人員	XX 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	XXX 時間/年(想定値)	
建物用途	工場	評価の段階	竣工段階評価	
竣工年	2021年2月 予定	評価の実施日	2020年4月20日	
敷地面積	12,342 m ²	作成者	宮井泰造	
建築面積	2,849 m ²	確認日	2020年5月20日	
延床面積	5,540 m ²	確認者	宮井泰造	

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.9

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 2.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.7

3 設計上の配慮事項

総合 今回計画した建物は加工食品の物流業務としての保管施設(倉庫)なので、現段階では環境面に注力するための条件が揃っていない。 これはCASBEE静岡(2016年版)による評価結果です。		その他 0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
0	0	0
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
0	0	0

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される